

よみがえれ！武蔵野の雑木林

～「独歩の森」の歴史・文化・自然～

武蔵野台地の雑木林は江戸時代に端を発し、薪・炭や腐葉土を確保するために利用されてきました。しかし、都市化やエネルギー革命でその多くは消滅し、わずかに残された雑木林も大木化して暗くなり、生態系は貧弱になってしまいました。最近ではナラ枯れの影響も深刻です。

本講座では、「独歩の森」の美しい生き物たちを写真で楽しみながら、武蔵野の雑木林の歴史と現状を知り、雑木林の文化と自然を再創造するためのヒントを学びます。

(注1) 「独歩の森」(武蔵野市境4丁目)は、明治時代の文豪・国木田独歩の作品『武蔵野』に由来がある雑木林なので、このように呼ばれています。

(注2) ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシによって雑木林の主木であるコナラ等が大量に枯れてしまう現象をいいます(大木に生じやすい)。

日時：2024年3月16日(土)

14:00～16:00 (13:45開場)

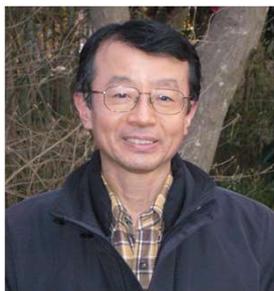
会場：武蔵野市立男女平等推進センター会議室

武蔵境駅徒歩5分 市民会館1階(武蔵野市境2-3-7)

定員：35名(申込順)

入場無料

どなたでもご自由にご参加いただけます



講演会の前に講師の田中先生と「独歩の森」見学を予定しております。

ご興味がありましたら是非ご参加ください。

「独歩の森見学」

時間：13:00～14:00

集合：13時 市民会館入口

講師紹介：田中 雅文 先生 日本女子大学名誉教授、武蔵野の森を育てる会代表
1954年生まれ、和歌山県出身。東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。博士(学術)。主に大人の学びとボランティア活動・コミュニティ活動との関係を調査研究している。「武蔵野の雑木林」の保全と再生、生涯学習と地域づくりの相乗効果の促進などの市民活動も行っている。著書に、『社会を創る市民大学』、『現代生涯学習の展開』、『ボランティア活動とおとなの学び』、『ボランティア活動をデザインする』、『生涯学習と地域づくりのハーモニー』などがある。

お申込み

(一社)日本女子大学教育文化振興
桜楓会武蔵野支部

メール：mu.ofukai@gmail.com

TEL：090-8805-2644(竹内)



【講師派遣事業とは】

支部主催の講演会を、桜楓会会員をはじめ広く地域の方も参加可能として開催することを条件に、講師謝金・旅費交通費・旅行傷害保険(地方支部講演会の場合)を負担し、理事会が委嘱した大学教員を講師として派遣する桜楓会の公益事業のひとつです。